

平成28年第6回黒部市議会12月定例会

一般質問（代表・個人）通告要旨

■一般質問（代表）

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	新政会 辻 泰久	1 平成29年度予算編成について、決算特別委員会からの指摘事項について (1) 本市の平成28年度の税収見込みと財源確保について (2) 平成29年度予算編成方針について (3) 一般会計、特別会計、企業会計ともに多額の滞納があるが、対応と回収について (4) 地区要望について (5) 黒部市民病院のさらなるサービス向上について (6) 上下水道のさらなるサービス向上と適正料金について	市長 市長 市長 市長 市民病院長 市長
		2 外国人観光客の誘客について (1) タイ王国訪問の成果は。また一過性で終わるのか (2) 大連市、上海市、北京市、台湾とそれぞれトップセールスということで訪問されているがその検証は。また、大連市からの修学旅行の誘致はどのようになっているのか。継続して行わないのかを尋ねる	市長 市長
2	新樹会 辻 靖雄	1 平成29年度予算について (1) 予算規模と予算編成の目玉政策は (2) 第1次総合振興計画の総括は (3) 黒部市民病院周辺の雨水対策と駐車場の融雪対策は (4) 地鉄沿線の荻生駅の待合室・トイレ・踏切拡幅の整備は (5) 新石田企業団地の誘致スケジュールは (6) 三日市保育所周辺区画整理事業の完成は (7) 地元大手企業のパッシブタウンの周辺整備は (8) 道の駅「(仮称)くろべ」の温浴施設の誘致状況は	市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	新樹会 辻 靖 雄	<p>2 「(仮称)くろべ市民交流センター」の建設について</p> <p>(1) 働く婦人の家、市民会館、三日市公民館の跡地の緑化策は</p> <p>(2) 駐車場の増大計画はあるか</p> <p>(3) 建物は4階建て鉄筋コンクリート造り、エレベーター付きの耐震構造物か</p> <p>(4) 図書館を核として、キッズスペース、研修室、会議室、ホールその他、どのような機能スペースを考えているか</p> <p>(5) 解体費、設計建設費、その他を含め、初期投資の費用は</p> <p>(6) 3世代交流の拠点として、利用者の見込数は</p> <p>(7) 旧黒部庁舎を中心として、半径500メートル以内にどんな施設があるか</p> <p>(8) 複合施設は単体施設と比べどんなメリットがあるか</p> <p>(9) 災害・有事の拠点機能対策は</p> <p>(10) 歩いて暮らせる街づくり(コンパクトシティ)への決意は</p>	市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長
		<p>3 観光振興について</p> <p>(1) 今回のタイ王国訪問の意義と成果は</p> <p>(2) 来年5月頃に予定されているタイからの約50人の視察団の受け入れの取組みは</p> <p>(3) タイの教育省と黒部市の間での覚書協定の可能性は</p> <p>(4) 今後、ベトナムへのプロモーション活動の計画はあるか</p> <p>(5) 台湾やタイの学生と地域住民との交流計画は</p> <p>(6) これからの観光戦略(数値目標)は</p> <p>(7) インバウンド受け入れ推進体制は</p> <p>(8) 黒部市観光局の更なる強化の必要性は</p>	市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長

質問順	会 派 名 質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
3	日本共産党 谷 口 弘 義	<p>1 平成29年度予算編成について</p> <p>(1) 平成29年度予算は住民要望に応え、くらし第一の予算編成にするべきである。27年度決算特別委員会で出された意見や要望を尊重し反映させるのは当然のことである。決算特別委員会で、形式的に継続されている費用対効果の少ない事業については見直しを図る事を指摘されたが、今の時点で事業の見直しを考えているものはあるのか</p> <p>(2) 決算特別委員会で、大型事業に隠れがちな、市民の日常生活の充実について、住民目線で取り込まれるように要望されている。当然のことだが、市として具体的にどのように取り込まれるのか</p> <p>(3) 地区要望への対応は、丁寧かつ、優先度とメリハリを勘案するとともに支援策の公平性が保たれるよう要望するとなっている。地区要望の実施率は38%と言われているが、これで十分と思わない。もっと住民要望に応えるべきと考えるがどうか</p>	市長 市長 市長
		<p>2 核兵器禁止について黒部市のとるべき姿は何か</p> <p>(1) 国連総会で10月27日、2017年の「核兵器禁止条約」制定交渉開始を定めた決議案を賛成多数で採択した。核廃絶に向けた取り組みが始まることになる。日本は唯一の戦争被爆国でありながらその決議案に反対した。被爆者団体や多くの国民からは日本の取った態度に非難の声、疑問の声が出された。当然のことだ。平和都市宣言をしている黒部市の市長として、日本が決議案に反対したことに対する考えはどうか</p> <p>(2) 黒部市は、非核三原則の堅持と、全ての核兵器などの速やかな廃絶を訴え、戦争のない平和な世界が実現することを願い、平和都市宣言をしている。市長、教育長が広島平和記念式典に参加された。また原爆パネル展を開催されるなど、核廃絶に取り組む黒部市の姿勢に多くの市民から評価する声を聞いている。今後の市の核廃絶に対する積極的な取り組みを期待しているが、その考えはどうか</p>	市長 市長

質問順	会 派 名 質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
3	日本共産党 谷 口 弘 義	<p>3 介護保険制度について</p> <p>(1) 介護保険制度の改定に伴い、サービス利用料の自己負担が、昨年8月からこれまで一律「1割」負担が、所得によって2割負担に引き上げられた。市内で介護サービスを受けている人は何名か。 そのうち2割負担になった人は何名か。 負担増となった1人当たり平均額と総額はいくらか。 負担増のために利用を制限するということが起きていないか</p> <p>(2) これまで介護施設入居者で所得の低い人には、食費や部屋代の一部の補助をしていた。昨年8月から介護施設入居者の補助制度を、住民税の課税や一定の「資産」があれば補助が受けられなくなった。市内で補助を受けていたが、この制度で対象外となった人は施設利用者で現在何名か。 負担増となる1人当たり平均額と総額はいくらか</p> <p>(3) 特別養護老人ホームの入所条件が、特別の事情がある人を除き原則要介護3からに変更された。その影響はあるか。 特別養護老人ホームの入所待機者が10月現在69人で、昨年(65人)より増えている。このことは一向に改善されていない現れである。昨年4月から新たに入所出来たのは何人か。 入所待機者を減らすため、市が積極的な対策を取らなければならない。どのような対策が取れるのか</p> <p>(4) 「高額介護サービス費」の負担上限額が、昨年の8月から、これまで課税世帯で月37,200円が、「現役並み所得者」がいる世帯は月4万4,400円支払うことになった。 市内で負担が増えるのは何人か。 負担増となる総額はいくらになるか</p> <p>(5) 今回の介護報酬単価の削減は、特別養護老人ホームで6%、訪問介護で4%、小規模通所介護で9%、ショートステイ11%など大幅なものとなった。このことで市内の各事業所にどのような影響があったか。 このような制度改悪を行って、安倍首相のいう介護による離職をゼロにできると思うか</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p>

■一般質問（個人）

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	伊東景治 (一括方式)	<p>1 食と安全・安心に関わる諸問題について</p> <p>(1) 最近頻発している食品への異物混入事件やO157等の食中毒など、食品の衛生管理の仕組みに起因しているとの指摘がある。富山県でも近年、射水市、砺波市、氷見市、富山市等で給食異物混入があった。本市の給食センターや自校給食における食品衛生管理は大丈夫か</p> <p>(2) 2020年東京オリンピックの開催を控えて、日本の食品安全が問われている。厚労省のハサップ(HACCP)の義務化への動きの中で、食品事業者はハサップの導入が不可欠になりつつある。本市給食センターのハサップに対する認識は</p> <p>(3) 東京オリンピックに出場する外国チームを誘致するには、選手の食事に関して、HACCPを導入している食品事業者が不可欠と思うが</p> <p>(4) 戦略Kで観光振興は重要な戦略テーマであるが、インバウンドの誘客や国内外のコンベンションの誘致を含め、「おもてなし」の一環としてハサップ(HACCP)は不可欠な取り組みではないか</p> <p>(5) 教育委員会事務の点検・評価の「食育の取組み」事業の内容で、朝食摂取状況調査結果をみると、小学生で0.6～0.7%、中学生で1.6～1.9%の児童・生徒が朝食を取らずに登校している。特定の児童・生徒ではないのか。また、彼等への対応は</p>	<p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>教育長</p>
		<p>2 高齢化・少子化社会と市民病院の経営について</p> <p>(1) H23年度から着手した市民病院の増改築事業も来年3月までには完成の予定である。新装された病院はどのような機能や特徴をもって医療を提供してくれるのか</p> <p>(2) 「2025年問題」に向けた医療体制を構築すべき喫緊の課題がある。平成27年3月に総務省から「新公立病院改革ガイドライン」が示された。現在、委員会で検討されている「黒部市民病院新改革プラン」の目的と計画及び進捗状況について、また改革プランは第2次総合振興計画に反映されるのか</p> <p>(3) 「医療・介護総合確保推進法」のうち、医療法関係の「効率的かつ質の高い医療提供体制の確保」について</p> <p>(4) 「地域での医療・介護の総合的な確保」については、第2次総合振興計画でどのように反映されるのか、相応に重いテーマであると思うが</p>	<p>市民病院事務局長</p> <p>市民病院事務局長</p> <p>市民病院長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	柴沢太郎 (一問一答方式)	<p>1 下流域の治水対策に関して</p> <p>(1) 黒部第一排水機場の排水能力は。また現在の管理体制及び稼働状況はどのような状態なのか</p> <p>(2) 様々な条件が重なると、晴天時にも関わらず大野川分水路及び、生地西背戸川に接続する側溝から水が溢れ出し道路冠水が起きている。雨量にもよるが、雨が降ると浸水や洪水が起きる可能性が非常に高い。水害が発生した場合、市はどう対処するのか</p> <p>(3) 高橋川が潮位や波の変動を受け水位が高くなりやすいことから、支流がその影響を受けている状況にある。高橋川の水位が高くなった時、合流が困難となることから、その対応が求められているが</p> <p>(4) 過去の事例から、4月～9月にかけて川の水位が上がりやすい傾向にある。その原因として稲作の時期であるのと共に、都市化の進行に伴う雨水増加量があげられる。また大雨が降った際、流域における自噴井戸の流出量の問題が危惧されるが、平成20年に富山県が行った節水対策に関して、黒部市はどう分析しているのか</p> <p>(5) 黒部市の地形上、あいの風とやま鉄道線より下流では地盤標高が低いエリアが広がっている。内陸部の都市化と共に、それに耐えうる下流域の治水対策が今後求められていると考えるが</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市長</p>
		<p>2 マイクロプラスチック海洋汚染について</p> <p>(1) マイクロプラスチックによる海洋汚染が地球規模の環境汚染問題となりつつあるが、市の認知度は</p> <p>(2) 地区住民や各種ボランティアによる海岸清掃が毎年何回も行われているが、市内海岸に漂着する漂流物の内訳は</p> <p>(3) マイクロプラスチック海洋汚染に関して、黒部市の今後の対策・対応は</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	小柳 勇人 (一問一答方式)	1 姉妹都市交流について (1) 根室市と姉妹都市。12月17日に日ロ首脳会談を控え、12月1日には北方領土返還要求運動のPR行動に参加された市長の所感を伺う (2) 根室市とは、スポーツ交流団の相互派遣や職員相互派遣、給食食材の提供などが行われている。商工会議所の連携も行われるなど期待が高い。今後の交流活動の内容についてを問う (3) 大韓民国のサムチョク市へ、黒部市都市間交流推進議員連盟として本年10月に訪問し、黒部市長の親書も渡してきた。今後のサムチョク市との間で来年度から計画されている職員相互派遣の目的と内容についてを問う (4) 姉妹都市や友好都市の交流について、若年層を対象とした交流を拡大し、「世界の人々と交流を深め、魅力のある」まちを目指すことの重要性が増している。今後どのように取り組むのか、考え方を問う (5) 黒部市と継続的に交流している、東京都千代田区都市農村交流や阿里山森林鉄道との連携について、黒部市としてどのように活性化されるのか考え方を問う	市長 市長 総務企画部長 教育長 市長
		2 黒部宇奈月温泉駅の活性化について (1) 市で整備をした駐車場についての評価と課題、活性化策について問う (2) 地域観光ギャラリーの評価と課題、活性化策について問う (3) ふれあいプラザの評価と課題、活性化策について問う (4) 駅東口広場、駅東公園などそのほかの評価と課題、活性化策について問う	都市建設部長 産業経済部長 総務企画部長 都市建設部長
4	川上 浩 (一問一答方式)	1 北陸新幹線敦賀以西延伸ルートへの考え方について (1) 支持する理由として所要時間が最短とのことだが、他ルートの比較においてその説明を願いたい。合わせて中京方面へのアクセスについての考えを伺いたい (2) また運賃が最も安いとのことであるが、他ルートとの比較検討を説明願いたい (3) 投資的効果が見込まれるとのことだが、どのようなことを述べられているのか。関西圏との行き来、全線開通(北回りルート)による効果について、新川地方、黒部市にとってどのように考えているのか伺いたい	市長 市長 市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	川上 浩 (一問一答方式)	<p>2 (仮称)くろべ市民交流センター構想・計画の考え方について</p> <p>(1) 複合して旧黒部庁舎跡に建設する場合の駐車場70台余りというのは、現在の各施設の駐車台数からしても足りるのか</p> <p>(2) 複合化、単体でのイニシャルコスト、ランニングコストはどのように算出しているのか</p> <p>(3) 図書館、公民館、働く婦人の家、市民会館には補助金がない。との説明であったが、社会資本整備交付金事業の細部が明らかになる中で、図書館、公民館単体であっても交付が可能となったのではないのか</p> <p>(4) 図書館、三日市公民館、子育て支援センター、会議研修のスペースとなっている働く婦人の家、市民会館を複合施設として整備を進めるとの考えは、見直しも含めて流動的に対応するということなのか</p> <p>(5) 第1次総合振興計画における400億円にも上る投資、起債残高320億円とならんとする現況。少子化への子育て支援と高齢化への対応が急務となっている第2次総合振興計画の中で財政見通しに立った投資の平準化と起債残高減額は避けては通れず、図書館、三日市公民館のそれぞれの施設の年次的整備とすべきではないのか</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>都市建設部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>
5	橋本文一 (一括方式)	<p>1 (仮称)くろべ市民交流センター建設について</p> <p>(1) 9月議会でも述べてきたが、複合化しようとしている施設の老朽化は、誰もが認めるところである。9月議会が終わってから、図書館・市民会館・働く婦人の家・三日市公民館・キッズスペースなどを複合化して建設しては駄目だとの声が寄せられる。図書館だけは単独で建設すべきとの声も寄せられる。わたしも、単独で建設すべきと思うが、どうか。複合化による図書館の建設を、時間をかけ検討すべきと思うがどうか</p> <p>(2) 10月に突然キッズスペースについて、子育て支援センターが入るとの説明があり驚いた。現在子育て支援センターは駐車スペースや地下駐車場があるメルシーの中に設置されている。お母さん方より大変好評を得ているのになぜ複合施設に加えるのか。複合施設に加えるべきではないと思うが、どうか</p> <p>(3) 住民から寄せられる声で多いのは駐車場の確保ができるのかとの声である。9月議会でも述べてきたが、70台駐車場ではあまりにも少なすぎる。70台の駐車スペースで足りると思うのか。また、教育文化などの中心となる図書館は敷地内の環境なども考慮したうえで建設すべきでは。少々割高となってもいいのではとの声も寄せられる。わたしは、現在の市民会館が跡地となったとき、木造による単独で建設すべきと思うが、どうか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	橋本文一 (一括方式)	<p>2 住宅リフォーム補助事業の復活について</p> <p>(1) 市内の住宅関連産業を中心とした、市内経済の活性化を図るとともに、市民が安心、安全で快適な生活を営むことが出来るよう居住環境の質の向上を図るため、住宅リフォーム補助制度が平成23年度より実施されてきて、住民や住宅関連産業のみなさんから大変喜ばれている事業であった。また、投資額の約21倍の経済波及効果もある事業であった。 昨年、12月議会で、28年度の事業継続を求めて質問をした。 都市建設部長は「今年度は4月より受付し、10月1日で終了とした。受付件数は166件で工事の総額で約3億1千5百万円、地元64業者が請け負った。今年度と同様に補助事業の導入を視野に入れ予算化に努めたい」との答弁であった。しかし、28年度は事業化が行われなかった。廃止となった要因は何か。 住民や住宅関連産業のみなさんから住宅リフォーム補助事業の復活を求める声が多い。事業を復活すべきである</p>	都市建設部長
		<p>3 就学援助の拡充について</p> <p>(1) 現在の就学援助の認定数は平成28年11月末現在、要保護者認定数は何名か。また、準要保護者の認定数は何名か</p> <p>(2) 要保護者認定者・準要保護者の受給率はどのような推移できているか</p> <p>(3) 就学援助制度申請への周知方法はどのように行われているか</p> <p>(4) 経済的に厳しい家庭が増えている。保護基準の引き上げが必要と思う。どうなのか。入学準備金の支給が実情にあってない。入学前に支給すべきである。どうなのか</p>	<p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	成川正幸 (一問一答方式)	<p>1 生涯学習推進について</p> <p>(1) 介護予防運動教室や地域サロン利用者の現状を伺う</p> <p>(2) 黒部市高齢者福祉計画にも生涯学習の推進が挙げられ、「生涯学習に対する参加意欲の高揚を図ること」が必要とある。そこで生涯学習の現状をどう見るのか。どのように推進しているのか。参加者を増やす取り組みが行われているのか伺う</p> <p>(3) 黒部市歴史民俗資料館の歴史講座や公民館などで開催されている生涯学習メニューが健康寿命の延伸に繋がっているという認識はあるのか伺う</p> <p>(4) 生涯学習メニューを地域包括支援センターは把握しているのか伺う</p> <p>(5) 健康寿命の延伸という側面からも本市において市民が交流し、互いに学び合い、次世代に繋いでいく生涯学習「(仮称)黒部学び合い大学」創設の検討をしてはどうか伺う</p>	<p>市民生活部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市長</p>
		<p>2 観光振興について</p> <p>(1) 北陸新幹線開業2年目の本年。今後、新幹線効果を持続させると同時に新幹線に頼らない地元に向けての広報・観光戦略も重要と考える。特にリアルタイムの情報発信が必要と考えるがどうか伺う</p> <p>(2) 今までの観光業者だけでは多様化する観光ニーズに応えられなくなっている。本市には、道の駅構想もあり、今まで以上に第1次産業や6次産業など他職種連携を進める必要がある。そこで地域の多様な関係者と連携し、稼ぐ地域にする日本版DMO制度の導入の検討をしてはどうか。本市の考え・状況について伺う</p> <p>(3) 現在、本市には「黒部宇奈月温泉観光局」があり、「富山湾・黒部峡谷・越中にいかわ観光圏協議会」と「新川地域観光開発協議会」に加入している。何年も前から広域観光を進めていて、いまだに課題として挙げられているのは今の体制が最適ではないからではないか、見解を伺う</p> <p>(4) 観光団体がいくつもあり、人員的にも予算的にも効率が悪いのではと考える。現在の考え方、事業の棲み分けなどがあるのか伺う</p> <p>(5) 観光団体の一本化で予算の消化ではなく的確な予算執行ができ、効率的な事業運営が出来ると考えるが一本化の考えはないのか伺う</p>	<p>産業経済部長</p> <p>産業経済部長</p> <p>産業経済部長</p> <p>産業経済部長</p> <p>産業経済部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	辻 靖 雄 (一括方式)	<p>1 中学生の挑戦について</p> <p>(1) 14歳の挑戦事業の準備と効果と課題は</p> <p>(2) スクールミーティングの感想と期待は</p> <p>(3) 英会話教育の効果はあがっているか</p> <p>(4) 中学生議会の開催を</p> <p>(5) 自転車通学の安全教育を</p> <p>1.スタントマンによる研修を実施せよ</p> <p>2.歩道の通学許可の緩和を</p> <p>3.ルール、マナーの徹底を</p> <p>2 愛本刎橋の柱脚跡を市の指定史跡に</p> <p>(1) 市指定文化財にするには</p> <p>(2) 越中新川郡愛本橋百分一之図の指定の経緯は</p> <p>(3) 愛本刎橋の柱脚跡を市の史跡指定に</p>	<p>教育長</p> <p>市 長</p> <p>教育長</p> <p>市 長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>
8	谷 口 弘 義 (一問一答方式)	<p>1 黒部市福祉センター、宇奈月老人福祉センター、公衆浴場について</p> <p>(1) 旧黒部市内にあった公衆浴場が10月15日で営業をやめられ、一軒もなくなった。住民からは「残してほしい」という声と、公衆浴場的な施設を街なかを求める要望が寄せられている。こうした要望に応える事が必要と考えるが、どうか</p> <p>(2) 黒部市福祉センターの入浴時間が10時～16時までとなっているが、せめて18時まで延長してほしいとの要望がある。旧黒部市内では公衆浴場が一軒もなくなった。こうした実情からも、入浴時間の延長が必要と考えるが、どうか</p> <p>(3) 黒部市福祉センターの福祉バスが運行されているが、運行経路をわかりやすくする事やバス停留場を設置し、運行時間を掲示してほしいとの要望がある。こうした住民の要望に応える必要があると考えるが、どうか</p> <p>(4) 黒部市宇奈月老人福祉センターは、各種サークル活動に利用されているが、入浴を含めた利用者が少ないと聞いている。 各種サークル活動の1ヶ月平均利用者は何名か。 入浴を目的とした利用者は1ヶ月平均何名か</p> <p>(5) 宇奈月老人福祉センター内の入浴施設が2カ所あるのに1カ所しか使用していない。女性が午前9時から午後2時30分まで。男性が午後2時30分から4時まで入浴時間が交替制となっている。2カ所使えるようにするべきと考えるが、どうか</p>	<p>市 長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	谷口弘義 (一問一答方式)	<p>2 肺炎予防のワクチン接種について</p> <p>(1) 肺炎による死亡率は、がん、心臓病に次いで第3位となっている。市内の65歳以上の人で亡くなった方の肺炎による死亡率は、おおよそ何%くらいか。肺炎治療に要する市の負担分はいくらか</p> <p>(2) 肺炎予防に、肺炎球菌ワクチンの予防接種が効果的と言われている。65歳から、5歳刻みで100歳の人まで接種できる。節目の年齢以外は原則8,000円～7,600円の自己負担であり、節目年齢での接種費用は、個人負担2,400円が必要と聞いている。黒部市内で65歳以上の人肺炎球菌ワクチンの予防接種率は、平成26年度で52.6%、平成27年度で49.8%と接種率が伸びていない。接種率を上げるには何が必要と考えるのか</p> <p>(3) 市が、節目での接種費用や節目以外での接種費用の支援を増やし、個人負担を減らす施策を行うことが必要と考えるが、どうか</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p>
9	山田丈二 (一問一答方式)	<p>1 商店街通り（組合に）設置されている照明のLED化について</p> <p>(1) 改めて、市が保有する防犯灯のLED化導入に至った目的と、効果、いわゆる費用対効果(減額率等)は</p> <p>(2) 市が保有する防犯灯の数(道路照明等は除く)は</p> <p>(3) 現時点での普及率、また、残灯数があれば、今後(将来)の対処は</p> <p>(4) 条約発効に向けて、市の今後の対処・対応は</p> <p>(5) 「協働まちづくり」の観点から、市民に寄り添った組織・体制づくりへの総合的な相談窓口(係)の設置に取り組むべき</p> <p>(6) 経済産業省の有識者会議の詳細は(省エネLED化促進に向け)</p> <p>(7) 商店街等の照明に対し、条約発効まで・中期的(更新時)を見据えてより具体的な支援策を</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
10	高野早苗 (一問一答方式)	1 黒部市結婚プロジェクトの推進体制について (1) 来年度からの本格実施に向け、数多くの若者の個人情報、実効性のある取組が求められる中、専門の職員を配置するのか (2) 推進拠点をどのようにつくられるのか (3) 黒部市には優良企業がいくつもあります。行政と企業が連携をし、結婚応援企業を募り、モデル企業をつくれぬか	市長 市長 市長
		2 全国植樹祭の黒部市会場について (1) 黒部市の植樹会場における植樹及び整備計画について (2) この植樹における市民並びに地域住民のかかわり方について (3) 植樹祭会場の周辺には市民の森「嘉例沢森林公園」があるが、今回の植樹祭での活用を考慮されるのか伺う (4) 森林を理解するためにも必要な嘉例沢森林公園を今後どのように活用されるお考えか伺う	市長 市長 市長 市長
11	中村裕一 (一括方式)	1 黒部市人口ビジョンについて (1) 人口減少が続く中、都会にいる若者のUIJターンは企業の人材確保やまちの活性化、経済の発展など大きな効果がある。市への若者のUIJターンの現状はどうか。また若者のUIJターンの取り組みについて伺う (2) 県の2015年人口移動調査によると、20歳～24歳の男性転入者は108人転出者を上回っている。しかし、同年代の女性は530人転出増となっている。市の男女の転出入はどうか。2014年地方創生会議の推定によると若い女性の減少によって地方自治体が消滅する危機も指摘されているが、市としてはどのように女性のUターンの方策を考えているか (3) 人口ビジョンのアンケートによると子育てについて、理想とする子どもの数は2人～3人が96.6%を占め平均2.46人と高い数値である。しかし現実の子ども数は1人～2人が、77.7%であり人口増のポテンシャルは高いと考えられる。市としてどのように支援していくのか。また、要望に答えていくのか (4) 市の人口ビジョンに対する将来を見据えた施策には、2060年時点の「施策の効果によって人口減少が抑止された」場合と「現状のままの推移」の人口の差を見ると差が大きく改めて施策の必要性が強く考えられる。市の取り組みについて伺う	市長 市長 市長 市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
11	中村裕一 (一括方式)	<p>2 郷土を愛する子どもの育成について</p> <p>(1) 地区のイベント、祭礼、運動会などの行事に子どもの参加種目を工夫し、地区の一員としての参加の喜びを会得させるよう図られているか。また、地区の郷土芸能の伝承について支援の現状は</p> <p>(2) 郷土の誇りとする自然環境や施設等について、小学校時に無料で体験学習する機会は大切と思うが現状は</p> <p>(3) 時々刻々と変化する社会情勢の中で子どもがどのように捉え成長していくか、新聞は重要な教材である。学校の図書館に新聞を置いている学校は何校か。また、授業に活用している現状は</p> <p>(4) 水産物の消費量が減少する中、学校給食で栄養や食育の面から魚食に親しませることが大切と言われているが、市では魚を使った給食は肉と比べてどうか。また、市の特産とする魚を供給して地場産の魚をアピールすることも大切でないか</p> <p>(5) 文部科学省では2018年から小学校3年生から英語活動を必修としている。市では英語教育について先進した取り組みをしているが、その結果と今後の取り組みについて伺う</p>	<p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>

○一括方式とは

議員が質問項目すべてについて一括して質問し、市長や各部長が一括して答弁する方式

○一問一答方式とは

議員が質問項目一問ごと(小項目)に質問し、市長や各部長がその都度答弁する方式